

# スローテンポ通信

第 72 号

2023 年 12 月 14 日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町 3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## ◎今読んでもらいたい

### ○『未来からきたフェミニスト』

北村兼子と山川菊江

13名の共同執筆 花束書房 2023年  
2300円＋税 ☆☆☆☆☆

北村兼子の27年の生涯は濃密だった。大学、法曹界、新聞社だけでなく、世間からもセクハラ、パワハラで排除されたが、自ら機会を探し、味方を見つけ、言論界や国際舞台で主張を展開した。誰もが驚き学ばされる。

## ◎ 参加するだけで、本を読みたくなる 読書こんわ会

毎月第4土曜日午後3時～5時

本を紹介の後、自由に話し合います。参加無料、準備不要、発言するしないも自由、とんでも発言歓迎！

次は2023年12月23日(土)

紹介する本は

『関東大震災』 姜徳相著

新幹社 2020年 1500円＋税

☆☆☆☆☆

関東大震災から100年、貴重な教訓が忘れられている。朝鮮人虐殺事件は単に「うわさを信じた人たちが実行した」とだけ伝えられている。

うわさには、うわさを流した人たちの意図がある。歴史学者が、うわさの発生源を調査分析し出版した。その消された名著の復刻版である。現在品切れで増刷が計画中。

### 《話し合いの候補テーマ》

- ・困ったうわさありませんか？
- ・うわさと流行はどう違う？

## 世代間ギャップで 日本を沈没させないために

狼に育てられた子は、人間の大人にはなれない。縄文人は縄文人に育てられて縄文人となり、江戸の町人は、江戸の町人たちに育てられ江戸の町人となった。

だから、現代人も現代人に育てられて現代人になる。そのはずであったが、現代人は深刻な世代間ギャップにぶつかった。

バブル崩壊の後、子育てが「叱って育てる」から「誉めて育てる」に急転換した。

それ以降、叱られた経験のない人が増え、誉められたい欲求ばかりが強くなった。

誉められたいから、誉められるよう行動する。歌がうまいと誉めると、もっと上手に歌おうとする。

一つのファッションが評判を呼べば皆が同じファッションで決める。新しい働き方を誉めれば、こぞって新しい働き方に就こうとする。

「誉める」とは、価値観の押し付けであり、家畜を飼い慣らすときに使う手である。

若者たちは調教されていることに気付かず、何ごとにも自分で決めたい込んでいる。

誰かが若者たちの承認欲求を利用している。誉められたときは、誰が誰のために誉めるのかを考えよう。

旧世代はあまり誉めない。新世代はそれが不満だ。そこから世代間ギャップが生まれる。互いに非難し合い、互いを理解するチャンスがない。

新世代は、議論しながら考えることがない。対話があっても、批判や指摘を避け、ただ「いいね」と言い合って共感する。

誰かに批判されれば、すぐに落ち込むか、キレルかのどちらかだ。

悩み事や困りごとがあっても、他人のせいにする。ホンネを語ってくれる人がいないから、自分が見えなくなり、一人で落ち込む。

心理学者は、自己肯定感が必要だとして、「今のままで素晴らしい」をくり返すが、それが成長願望を失わせる。

考えないから、社会の矛盾にも気がつかず、日本のあり方も考えない。

自己実現という言葉が独り歩きし、自分の価値観を形成することなく、あてがわれた目標に突き進む。

研究者ならノーベル賞、小説を書いたら芥川賞、あこがれのタレントや人気のスポーツ選手など、世間の優等生を目標にしてがんばろうとする。そこには、承認欲求があるだけで、自分が何をしたいのかがない。

あてがわれた自己実現に挫折すれば、自分の殻に閉じこもる。

こうして、日本の新世代は、人の話を聞かなくなり、成長も止まる。他人への関心がないから、本も読まない。

ではどうすればよいか。

人は人との積極的な関わりを通じて、気付いたり発見したりする。

人の話を聞けない人も、本なら読める。古今東西限りなく、思う存分、多様な考え方を知ることができる。よい本との出会いは、人生に転機をもたらす。人との積極的な関りだ。

インスタント情報を得るだけならスマホでよいが、本は、読みながら考えることができる。ページを進めたり戻ったり、確認したり読み直したり出来るのである。

その上、言論の自由が保障されるのが本である。誰でも努力さえすれば、本にして、最後まで思う存分主張することができる。

日本には数百の無名の出版社があり毎日数百の本が出版されている。すごい本が出て、残念なことに多くは埋もれて消えていく。

スローテンポ書店は、地域の人に勧めたい本を積極的に集めている。読書こんわ会に参加すれば誰でも本を読みたくなる。本には読み方がある。希望があれば、読み方まで指南する。

餌を求めて落とし穴に落ちるような人生を卒業し、みんなで本を読もう。  
(ブログより抜粋)



本好きも本嫌いも

本の価値を再発見する！

スローテンポ書店

小山駅西口 ロブレ地階

オープン：火、木、土 13時～19時

祝日はお休みです。



香港を見よ。若者たちが、閉鎖を免れた  
独立書店に集まっている。

## ☆すろーてんぽ懇話会

悩みごとや困りごとを出してください。課題解決型で話し合います。悩みごとのある人もない人も、どなたも歓迎！

第2土曜日 午後3時～5時、参加無料。

## ☆文章懇話会

文章は最も正確で強力なコミュニケーションツールです。自分で書いた文章を提出してください。本人にしか書けない文章を目指して話し合います。自分自身を再発見します。

第2木曜日午後3時～5時、参加無料になりました。